

民話の中の方言 荒神さま〜茂原市〜

おらがじいさまはよ、正月が近づくと、毎年毎年、わらを良くしごいて、しめなわだの、お飾りだのを、そらあじょうずにこしれえたもんだ。できあがると、おく山から採ってきたシダをつけて、山の神だの、墓所だの、井戸だの、ごみすて場だのと、いろいろの所に供えたもんだ。これを供えてくるのは、子どもころのおれの仕事だった。

「おらがんおつかあは、気性が強うて、かかあ天下だかん、こんくれえ大きいのがあった。」

「おらがんおつかあは、気性が強うて、かかあ天下だかん、こんくれえ大きいのがあった。」

「おらがんおつかあは、気性が強うて、かかあ天下だかん、こんくれえ大きいのがあった。」

「おらがんおつかあは、気性が強うて、かかあ天下だかん、こんくれえ大きいのがあった。」



出典：千葉の伝説（改訂版）

参考文献

1「お国」とばふしぎ大辞典（青春出版社）

2「千葉の伝説（改訂版）」
千葉県文学教育の会編（日本標準）

訛りの懐かしさ

石川啄木の短歌に『故郷の訛り懐かし停車場の人ごみの中にそを聞きに行く』があります。「東京での暮らしで、どうしても故郷の東北弁が聞きたくなって、東北往きの列車が発着する上野駅の人ごみの中に入っていく。必ず故郷の東北弁が聞けるはずだから…」

美術収蔵品展

「花の絵画と芝原人形展」

しばはらにんぎよう
芝原人形展

1月20日（土）～3月12日（月）
会期中休館なし

梅を描いた林功の日本画「万香」、鴉川誠一の洋画・墨彩画による花の作品群などの絵画18点と、江戸時代の今戸人形の流れを汲んで明治から長南町に伝わる、千葉県伝統工芸品（土人形）の芝原人形56点とのコラボレーション展示です。

ご来館の皆様には和の空間とひな人形、縁起物など、一足早い春をお楽しみください。

美術館・郷土資料館
入館無料 ☎(26)2131へ。



「茂原と鉄道」



○郷土資料館展示

展示中～2月12日（月） 会期中休館なし
「鉄道網の発達と茂原の発展について展示」

○歴史セミナー

2月12日（月）
13時30分～15時30分
対象 一般 定員 30人
申込 1月15日（月）～電話申込、申込順

新しい『茂原市史』の編さんが本格的にスタート！

旧『茂原市史』の刊行からすでに52年、その後、本納町と合併し社会も大きく変貌しました。

新しい市史を、市民と共に“ふるさと茂原”への思いを育み、後世に継承できるよう刊行していきます。

- ・収載範囲：全市域、現在までの歴史
- ・刊行予定：2022年（市制70周年）から順次

これまでに、戦争中の軍人の日誌、南総鉄道、明治期の学校関係の書類や写真、各自治会の保存文書など、貴重なものが見つかっています。

※引き続き資料を探しています。我が家の年中行事記録など、捨てる前にぜひお知らせください。（市史担当）

◆「ハロータウン」は、「広報もばら」7月1日号、10月1日号、1月15日号の中に折り込んで発行しています。